いわ

崖

0 立 語 が

種子といわれる、高さ6mほどの岩 岩橋から下流の方をのぞきこむと、 きな岩が川の真ん中に横たわって 地元で「立岩」と呼ばれる二つの りに表した梵字(サンスクリ 長野川に架かる美里町南長野 そのうちの手前にある幅8 ほどの岩には、 仏や菩薩を像の代 中心近くに ッ m 61

てい

ます。

刻影を見つけることができ

現在

41(1908)年までは立岩の西方に

「立岩大明神」と呼ばれる神社

が

11

いう仏塔

た、

現在は残っていませんが、

明治

ま

 \mathbf{m}

方形

張

りました。

刻



まれ の基礎と塔身、 確認できる塔の高さは約1.8 出した隅飾 ています。

が

かついた笠と相輪が刻るの上には左右に張

尼という経文を収 なりました。 や墓碑として多く建てられるように でしたが、 篋印塔は、 もともと宝篋印陀羅 中世以降は、 めるための 仏塔の 供養塔

知ら えられています 田 原 0 0 市内の磨崖仏としては、 の塔は・ 石山 六体地蔵や七体地蔵などが 民俗文化財に指定されてい れていますが、 宝篋印塔が刻まれ 塔刻磨崖仏」として、 観音をはじめ、 中 世 から近世 この立岩の どのような理 た例は珍 美里町 のものと考 芸濃町 しく よう ます。 よく 市 H 南 楠

うつすらと「宝篋印塔」と この岩には「キリー 崖仏といいます。 然の岩山に刻まれた仏像などを と考えられる一 刻まれています。 種子の周りをよく見ると 文字が -ク(阿 このように、 刻 弥 つまれ 陀 それ かっ で川 あまり知られていませんでした。 0 は、 までは地元でもこの塔のことは 7 0 の塔の存在が明らかになっ

1/2 中

> 0 巨 岩に

> 刻まれた

か

は

分

ません。「美里村史」

による

今から二十数年前のことで、

の色づきを楽しみながら、立岩橋へと ける好機。長野川の水面に映える木々 足を運んでみてはいかがでしょうか。 秋晴れの日こそ、この磨崖仏を見つ



文・写真▶教委生涯学習誤



広報 津

毎月1日・16日発行

- ●編集·発行 津市政策財務部広報課 T514-8611 西丸之内23-1
 - **229-3111 229-3339**
- ●印刷 寿印刷工業株式会社